



トイレ学大事典

トイレ学大事典

家庭用から学校、病院、コンビニ、高速道路、駅、列車、仮設トイレまで、あらゆるトイレを学問する総合事典。生存に欠かせぬ身近なトイレ空間を、多角的な視座から徹底解剖し、平易な表現で解説する。資料や写真も多数収録。

日本トイレ協会 編
(柏書房)



マイ・ヴィンテージ・ハロウィン

マリオン・ポール 著
(グラフィック社)

ハロウィンの起源や言い伝えをはじめ、地域ごとに行われるユニークな習慣などを紹介。絵はがきや物語の挿絵のかわいいレトロな図版、トラディショナルな手作りグッズの作り方も満載です。



暴力は絶対だめ!

アストリッド・リンドグレン 述
(岩波書店)

「長くつ下のピッピ」を生んだ児童文学作家、アストリッド・リンドグレンが、暴力と権威主義特に子どもたちが最も被害を受けている家庭内暴力の問題について強く訴えた、ドイツ書店協会平和賞受賞スピーチを収録する。

児童書



ほしをひろった? ムーミントロール

トーベ&ラルス・ヤンソン 原作
(徳間書店)

ムーミントロールがひろったきれいな石は、流れ星のかけら? きっと願い事をかなえてくれると、みんなわくわくしているけれど…。星空の下で家族やなかよしの友だちといっしょにいるうれしさを伝える、ムーミン谷の絵本。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

熱風に情け容赦の欠片なし 石黒貴代子
雷の劈く音に身を縮め 杉本 衿子
悠然と花から花へ夏の蝶 坪井 径子
またひとつ大河を越せり夏の空 小塚美枝
遮断機が下りし真昼の草いきれ 青山とも子
せみの声猛り暑さを煽りをる 安藤春一
動けない末期の蟬にこぼす水 水野真弓
百日の中の一日さるすべり 岡島 齋
容赦なき大炎天やがらんだう 青山克己

手に受けし水のこぼるる終戦日 田村多喜子
無風なる一級河川草いきれ 高木須磨子
戦後七十年ザリガニは紅のまま 坪井昭子
炎天や許せぬ日々多かりき 杉浦みどり
宮の杜膨らましたる蟬時雨 村上ゆり子

豊山歌壇

水野笑子 選

趣味となす野菜作りが生き甲斐に 小出寿枝
朝取り茄子のつや艶として 朝取り茄子のつや艶として
蚊帳つりて母と寝ねしは懐かしく 近藤時峰
年甲斐も無くあの頃思ふ 佐藤 良子
久々に歌友と話す楽しさに 佐藤 良子
なばなの里の一日はばら色 佐藤 良子
農業を生業にして六十年 柴田満枝
鏡に映る背丸くなりをり 柴田満枝
検査終へ半年ぶりの開放感 鈴木久子
健康であれと夫の背を見る 鈴木久子
朝夕に大きくなれよと声掛けて 鈴木弘香
育てし野菜の実に感動す 鈴木弘香

井上とよほ 友よりの鉢植ゑの苗花桃の 井上とよほ
咲くを願ひて慈しむなり 友よりの鉢植ゑの苗花桃の
木村和子 半分は理解出来ない朝刊を 木村和子
ゆつくりと読む変な世の中 木村和子
雨の夜に節くれ立ちし指先を 柳田真寿美
見つめ自問の七十年想ふ 柳田真寿美
父と母の月命日の墓参り 安達 洋子
七十路越えれば肅粛と過ぐ 安達 洋子

編集後記

神奈川県三浦半島の先端に位置する三浦市にとって、市の三方を囲む海は貴重な財産だった。夏には海水浴客で賑わい、かつては七万人を超える観光客が訪れた。しかし、近年は観光の多様化もあり、五百万人を割り込むほどに落ち込んだ▼名古屋空港も、かつての年間利用者数は一千万人を超えることもあった。昨年度は県営化後最多の六十五万人を突破したものの、桁が違つた。▼三浦市はどうしたか。危機感を抱いた市と市民はともに悩み、考え、気付いた。三浦には、表情豊かな海の景色が至る所にある。映画やドラマのロケを誘致する事業に取り組んだ。現在では、年間百件以上のロケが行われる国内有数のロケ地にまで発展した。推進力になつたのは、市民主体で立ち上げたNPO法人だった。本町の財産は、情熱ある市民であった。▼九月十二日、本町の町民十人からなるまちづくりサポーターが発足した。町の課題の改善や魅力の向上に取り組みむ有志である。初回から熱く議論が交わされた。本町には、サポーターのほかに、町に感じる愛着を熱意に変えてまちづくりに取り組んでくださる町民がたくさんいる。この方々こそが、本町の宝である。